

小・中学校における子どもたちの仕事は「よく学び、よく遊ぶ」の二つだけしかありません。子どもたちがよく学び、よく遊ぶためには、小・中学校の教育環境を整える必要があります。教育環境には、まず、教えることに意欲をもった先生がそろうていること、次いで、教育を施す先生と授業を受ける子どもたちの両者にとって最適な学習環境が整備されていること、最後に、子どもたちが快適に過ごせる生活環境が整備されていることの三点が挙げられます。

小・中学校の教育は教育委員会の所管であり、町長が口を出すことは厳に慎まなければなりません。子どもたちが通いたいと思うような小・中学校の学習環境や生活環境の整備を財政的に出来る限りバツクアップしなければならぬと考えています。

学校保健安全法に基づく「学校環境衛生の基準」によれば、教室の温度は「冬期では10度以上、夏期では30度以下が望ましい。また、最も望ましい温度は、冬期では18から20度、夏期では25から28度である」となっておりますが、現状では取分け夏期はこの基準に適合しないことが明らかです。

は、子どもたちの学習環境を改善し、学習効率を高めるためであり、併せて、授業を行う先生たちの授業における指導意欲が暑さによつて低下するのを防ぐとともに、指導意欲の一層の引き出しにつながるものと考えています。

エアコンの設置は中学校から23年度を皮切りに始めますが、小学校への設置も計画的に順次進めるように考えています。

先日、教育委員会に出席をさせていただき、教育委員の皆さまにエアコン設置による教育環境の整備の更なる狙いについていくつかお話をさせていただきました。子どもたちの学校における教育は4月からスタートを切りますが、すべての子どもが順調に授業をこなして前に進んでいる訳ではなく、何人かはちよつとしたつまづきで授業内容が理解できなくなり、勉強が面白くなくなるばかりか、深刻になれば不登校になることもあります。子どもも大人も同じですが、分らない



町長からのメッセージ

いことが周囲に知られるのを恥ずかしいと思う気持ちがあります。したがって、授業を理解できなくても、他人に知られるのが嫌だと思ふあまり、黙っている子どもが散見されます。先生たちは授業態度やテスト結果などから、つまづいている子どもが誰かは分かると思いますが、そのような子どもを授業時間の中で元通りにしてやることは難しいことと思えます。エアコンが設置され、土曜日や日曜日、あるいは夏休みなどに補習教室を設けることができれば、つまづいた子どもをつまづきを取り除き、元通りにすることも可能ではないかと考えています。現在、黒田教育長が二、三の友人と語らつて土曜日につまづいた子どもたちのための補習教室を「サタデー教室」と銘打つて隔週ごとに開いています。このような補習教室を常設することも可能ではないかと考えています。また、町民の皆さまの生涯教育にも使えるなど、エアコン設置によつて

教育施設の用途が大きく広がるものと受け止めていきます。次いで、「臭い・汚い・暗い」と酷評される学校のトイレ事情ですが、教育委員会の事務局長とトイレ視察を行い、なるほどと合点がいつた次第です。来年度、試験的に中学校の体育館のトイレを改造し、「臭わな・きれい・明るい」と好評される環境に一変したいと考えています。

要するに、エアコン設置もトイレ改造も、子どもが通いたいと思うような学校を創り出すことに狙いがあります。少子高齢化のスピードは速まり、子どもはますます少なく、お年寄りもますます多くなります。私たちはますます少なくなる子どもに「よく学び、よく遊ぶ」教育環境を整え、未来を創り出し、未来を力強く担ってもらわなければなりません。子どもたちの未来に大きな投資をしなければ、明日を切り拓いてくれる子どもたちを産み出すことはできないと考えてい

ます。「ちいさな理科館」もエアコン設置もトイレ改造もすべて子どもたちの未来への投資の一つです。

教育施設の整備

町長室には中学校の生徒が男女を問わず学校帰りによく立ち寄り、いろいろな話をしてくれまます。おかげさまで、中学校生徒の友人もたくさん持つことができ、学習環境や生活環境の不具合を教えてくれるばかりか改善提案をも寄せてくれます。ひよつとしたら、吉田中学校の内部事情に少しばかり通じているかもしれせん。もちろん、小学校児童の友人も数多くいます。ちなみに、小・中学校の年若き友人は、私への呼び掛けには田村町長を略して「ダムチョウ」と親しみを込めて声を掛けてくれます。

けるのが日常風景になっていきますが、近年の猛暑によつてこの落差がますます広がっています。この家と学校の学習環境の落差の拡大は、子どもたちの勉強に対する意欲を妨げているのではないかと考えました。また、生活環境に対する要望はトイレの改善に尽きませんが、子どもたちはトイレに対する苦情を「臭い・汚い・暗い」の3Kで表現しています。的確な表現だと感じしました。

そのような話しはさて置き、中学校生徒の友人が私に寄せる学習環境や生活環境に対する要望は、前者では勉強しやすい環境の整備、後者ではトイレの環境整備を挙げています。子どもたちは、家ではエアコンの備え付けられた快適な部屋で勉強をし、学校では蒸し風呂のような教室で授業を受

まず、エアコンによる学習環境の整備ですが、兵庫県小野市のエアコン設置の説明によれば、「学習するのに最適な温度は25〜26度、1度高くなると学習効率や集中力が約5割低下し、30度で約23割低下する」とのことです。また、平成23・24年度に小・中学校で新学習指導要領が完全実施されることによつて、授業時間数と授業内容が増加するため、子どもたちが学校で過ごす日数や時間数が増えることになり、学習環境の改善が求められています。要約すれば、エアコンの設置



町長からのメッセージ 95 我が町の明日のまちづくりについて...④

— 教育・文化・交流 —

文化振興

秋を迎えると、各自治会や町内会で文化展が催され、お招きに与り出品の出来栄えを堪能させていただいています。毎年それぞれの文化展を訪れるたびに、出品の点数が増え、その出来栄えの向上に感心しています。社会経済の環境は厳しいものがありますが、町民の皆さまはウォーキングやグラウンドゴルフなどを楽しんで健康に留意するとともに、さまざまな趣味を持ち、その技に磨きをかけ、心を豊かにしている様子がうかがわれます。

や町内会の文化展が開催され、他方では、3月の「小山城お花見茶会」や「スプリング・ジャズコンサート」、5月の「サツキ展」、10月の「芸能祭・文化展」、11月のダンスの「笑つしよいよしだフェスティバル」、男性コーラスグループ「吉田町男声合唱団」、女性コーラスグループ「フリージア」、男女混合の「吉田混声合唱団」のそれぞれの合唱コンサート、さわやかクラブ連合会の「演芸祭り」、三枝会の日本舞踊の発表会、同好会による演歌発表会、3年ごとに行われるベートーベンの代表曲「第九」を歌うコンサートなど数多くの文化活動が展開されています。